

こんにちは、 日本共産党井上けんじです



日本共産党南地区委員会 ☎ 353-6311 自宅 ☎ (F兼) 691-3323 (携帯) 090-7880-9442
 日本共産党京都市議員団 ☎ 222-3728 FAX 211-2130
 市議員団ホームページ <http://cpgkyoto.jp/> E-mail info@cpgkyoto.jp 2022年5月22日



5月10日、共産党市議団としてヘルスピアを視察。

ヘルスピア存続を求める運動、更に広がる 市長は廃止条例案の撤回を、各党は反対せよ

健康増進センターヘルスピアの存続を求める運動が更に広がり、僅か2ヶ月余りのうちに署名数が5千筆近くも集まっています。日本共産党市議員団も、10日、視察に行きました(写真左)。

経過と今後の予定を紹介いたします。

【経過】

- 昨春の「市行財政改革計画(案)」に「ヘルスピアなど市の施設の今後の在り方について」「存廃も含めて検討」との市の方針。
- この井上議員ニュース(以下、本紙)の5月30日号で「敬老乗車券」
- 今年になって、2月22日付「京都新聞」に「ヘルスピア」の充実を、廃止反対」としました。
- 本紙6月27日号で、市民意見を出し、ようと呼びかけ。参考例を次のように例示しました。「健康増進センター(ヘルスピア)」

【今後の予定】

- ▼5月20日、市議会本会議にて、井上けんじ議員が、市長に質問通告を出していますが(本紙は17日の作成です)、詳細は次号にてお知らせします。
- ▼23日(月)市議会本会議にて各党代表質問
- ▼25日(水)、市議会

「ヘルスピア、廃止を視野」との記事が掲載される。

- 3月18日の議会委員会で、市が正式に「来春で廃止」との方針を発表。
- 本紙3月27日号で18日の委員会の報告。
- 4月24日号で「運動広がる」との記事。
- ◎4月5月にかけて、市民から、存続を求める議会請願や、市長・各党への申入れ活動が、少なくとも三つのグループから、それぞれ独自に、波状的に、取り組まれる。
- 本紙5月15日号「市長が廃止条例を提案」と報告。
- 5月18日、市議会本会議にて、市長が正式に廃止条例案を提案。

上議員が、市と折衝中

最近の相談から



◎非課税で、返済無用のハズなのに、返済督促の案内が来たのはどういう訳か(現在、井上議員が、市と折衝中)

◎生活困窮者自立支援金について聞きたい。

◎犬を三匹飼っているが、食事代と医療費が高くて大変です。

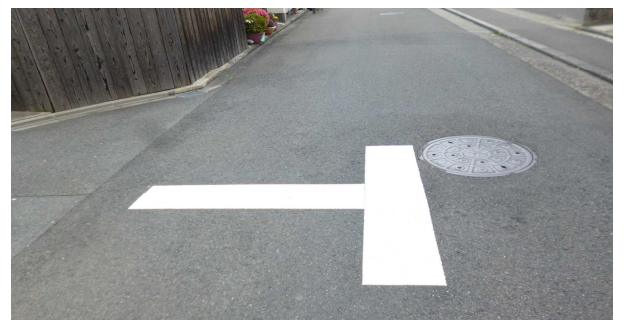
◎固定資産税が高い。

◎井上さん、私の悩みを聞いて下さい。

◎自筆証書遺言の書き方を教えてほしい。

◎敬老乗車証を民間バスでも使えるように。

事業復活支援金の申込は5月末迄です。該当する事業者の皆さん、お急ぎ下さい。**緊急小口資金・総合支援資金等特例貸付**は来月もOK。



三叉路交差点に注意喚起の白線が表示



よりよい介護をつくる市民ネットワークの皆さんと、介護について懇談(5月13日)

